



# 1 月代表委員会議事録ニュース

2026.2.2 さいたま市連協

1 月代表委員会では、秋の活動の報告、パブリックコメントの取り組み提案、事務局職員の勤務規程変更についての議決結果報告、そして二つのテーマでの交流を行いました。また総会までの今後の予定について確認しました。

## **秋の活動報告** 署名活動・議員行政懇談会 それぞれすでにニュースを発行しております。

皆さんにご協力いただいた署名活動の報告を行いました。

署名の筆数は年々減少傾向にあり、今回は動画の作成や区民まつりへの出展など新たな試みも実施しましたが、市連協の周知活動の見直しや各クラブでの呼びかけ方のノウハウを共有するなど工夫が必要であると役員会で振り返った内容について説明・報告しました。

次に 11 月 3 日（月・祝）に実施した議員行政懇談会の報告を行いました。

当日の振り返りから、市連協として今後どのような発信をしていくべきか、行政に対して何を要求していくべきかを整理し検討することができました。

## **パブリックコメントの取り組み提案**

さいたま市が現在募集している「さいたま市放課後子ども居場所事業と放課後児童クラブの整備に係る基本方針（案）」へのパブリックコメントの取り組み（2 月 5 日まで）について提案しました。

市連協の意見書（案）として、基本方針（案）には明記されていない「保育の質」と「人材の確保・定着」という視点を盛り込むことや配置基準の明確化、民設クラブへの支援と支援員の雇用継続への支援を手厚くすることを求めています。これらの内容を説明した上で、同意いただいた各クラブ名を記載し提出する旨を提案しました。代表委員会の資料を参考に、各クラブでも取り組んでください。

## **市連協事務局職員の勤務規程変更について**

前回の代表委員会にて提案した、市連協事務局職員の勤務規程に「役職手当」の項目を追加する件について、書面での議決権行使書の提出により、128 団体中、賛成が 123・反対が 1・保留が 2・未回答が 2 となり、賛成多数での可決となりました。ご検討いただき、ありがとうございました。

書面で寄せられたご意見として、「本来は手当という形ではなく、基本給のアップとするべきである」というご意見をいただきました。また、「処遇改善には賛成だが、学童で生じている問題に対してより真摯に向き合って欲しい」というご意見もいただきました。今後しっかりと議論してまいります。

手当の具体的な金額などは 3 月の代表委員会で来年度予算案とともに説明させていただく予定となっております。

## **交流**

半年ぶりの実施となった交流の時間では、①保護者役員の引継ぎ方法や課題について、②学童じまん/学童があってよかったこと、の 2 つのテーマに分かれて交流を行いました。

以下は内容をまとめたものです。

テーマ①：役員を決めるのは大変な中で、どのように決めていけばいいのかという悩みの声に対して、「2 年生の保護者（を中心に）が担うことが決まっている」「一つの役に複数人立て、負担軽減している」「時間の拘束がない役を増やした」など各クラブでの工夫について話してもらいました。

また、役員の引継ぎ方法については、仕事内容や議事録、次年度への課題などをエクセルにまとめた資料を作り引き継いでいるクラブやグーグルドライブで資料の共有をしているクラブなどから話が出されました。

役員決めの悩みに対しては、負担軽減と仕事の効率化をすることで役員のなりてを確保しようとしていることが分かりました。「会長は4人、会計は3～4人で担当することで負担軽減となり、役員決めも苦勞しなくなった」というクラブの情報も聞くことができました。

**テーマ②：**学童の良さを確認し合う中で、「多くのイベントを子どもと話し合いながら実施している」「家ではできないイベントができる」「学童だからできる様々な訓練を実施している」「保護者会行事の充実」「毎月のようにイベントがある」といった、学童ならではのイベント（キャンプ、BBQ、スイカ割り、プール、餅つきなど）があることがじまんだという声が上がっていました。

また、子どもたちにとっては、「子どものやりたいことを一度取り入れてやらせてくれる」「子どもたちがやりたいことを叶えられる」「縦の子どものつながりがある」「上下の子の交流がある」「一人っ子なのだが、下の子の面倒を見るなど経験でき、助かっている」などといった子どもの主体性を大事に保育ができる点や学童が生活の場だからこその学年を超えてのかかわりに関する声が上がっていました。

そして、「指導員と保護者の距離が近く、気軽に相談できる」「指導員が常に保護者の負担を考えてくれる」「長く続けている指導員同士の助け合いができて」「親とは別に安心できる大人がいること」「保護者も指導員も保育報告を大切にしている」というように指導員についてのじまが多く出されていたことも印象に残りました。

過去に市連協の活動として今回の交流のような「よかった探し」の作成（各クラブで掲示物を作り、交流や議員へのアピールを行った）がありました。居場所事業ではできない学童ならではの「よかった」が今後も強みになっていくのではないかと考えます。

#### 今後の日程について(案)

2月7日（土）9：30～12：00 事務局会議

2月14日（土）9：30～12：00 役員会

13：30～15：00 安心安全マニュアル検討委員会

2月28日（土）9：30～12：00 事務局会議

3月7日（土）9：30～12：00 役員会

3月15日（日）9：30～11：30 代表委員会

5月24日（日）2026年度定期総会 詳細なスケジュールは決まり次第連絡します。

#### 総会までの流れ

2月・3月 役員会で次年度の方針・計画を議論

3月 代表委員会で総会議案の提案

4月 各クラブ内で議案の賛否を取る

5月 市連協総会当日（議決）

♪このニュースはすべての会員の皆さんにお読みいただけるようご配慮ください。

発行：さいたま市学童保育連絡協議会 TEL 048-840-0962 / FAX048-840-0963